

しずおか 西おまちかわら版

第7号

2018年12月16日(日)
隔月発行

静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター



100年を超えて賑わいの真ん中に
七間町名店街

商店街振興組合七間町名店街

パフォーミング・アーツとは
演劇やダンスなどの身体表現を核とし、ライブを前提とした芸術的創作活動。静岡が誇る大道芸やミュージカル、オペラなども含めて考える。また能や歌舞伎などの伝統芸能や落語、講談などの話芸もその範囲とし、より多様な身体表現を包括する。



What's on Nishi-Omachi!? 七間町、人宿町界隈で行われる舞台公演、イベント情報をピックアップ。

石井萌水10周年記念公演「アラサー・ア・ラ・モード」
 出演:石井萌水、松下リッキー①、小粥幸弘①、陸山ひさ枝②、三島景太②
 日時:2018年12月22日(土) ①15:30 ②19:30 (開場は各回30分前)
 場所:人宿町やどりぎ座 ⑩
 料金:前売 3,000円 / 当日 3,500円
 予約・お問い合わせ
 054-272-7277 (人宿町やどり座。営業時間のみ)
 ticket@yadorigiza.info

「友がみなわれよりえらく見ゆる日よ/花を買ひ来て/妻とたしなむ」と詠んだのは石川啄木だが、おいおい、んなこと言いながら、花を買う余裕があって、結婚もしてんのかよと、ツッコミを入れたくなったアナタのために、この芝居はある。
 ——大岡淳 (演出家・劇作家)

まちにハミ出す劇場の子カラ
劇街ゴングクショウ

大道芸人とアーティストが街中にひろげるプレイグラウンド。
 メインキャスト:ふくろうじ (クラウン)
 出演:あまる (大道芸)、原大介 (音楽) 他
 日時:2019年1月19日 (土) 12:00 - 16:00
 場所:七間町歩行者天国 (静岡東宝会館前) ⑤
 予約不要・参加無料

この新しい演芸場は流行りの歌舞伎が観れるとあって大盛況。辺りに飲食店などが集まり、より賑わいが生まれていきます。ただ落成して一年も経たない内に辰五郎は東京へ戻らねばならなくなりました。時代は急激に変化している頃です。明治になり廃藩置県が施行され、静岡藩も解体を余儀なくされました。それにより辰五郎の仕事も失われてしまったためです。時を同じくして「玉川座」は出資者だった「綿伊」が倒産したことから権利を譲り受けた小川鉄太郎によって「小川座」と名称を変えました。「小川座」はやり手の興行師が居つたらしく、おかげで東京・大阪の人物役者や芸人がよく立ち寄ったということ。甲府の三井座とともに東京役者の足留まりとして有名だったと伝えます。(つづく)

七間町とパフォーミング・アーツ
 新門辰五郎は七間町に新しい演芸場「玉川座」を設立すべく出資者を募ります。辰五郎が江戸から駿府へ越してそれほど時間が経っておらず、どんなに江戸で名を挙げた火消しの頭といつてもここではそう簡単に出資者が見つかるわけではなかったでしょう。しかしそこはさすがに辰五郎。旦那衆から信頼を得て清水の米穀廻船問屋「綿伊」を紹介されます。こうして無事出資を受けられることになりました。そして明治三年八月に「玉川座」は落成します。



七間町ハブニング3 2019年3月11日(月)~3月17日(日)開催。
 七間町人宿町界隈の劇場、施設、カフェや歩行者天国などで繰り広げられるパフォーミング・アーツ・フェスティバル。次号で特集します。

参加型ダンスパフォーマンスのオーディションをCCCで行いました。プロダンサーのダンスに参加者の目が釘付けでした。発表は七間町ハブニング3の演目としてお披露目します。

今月号のパラレルキャリア宣言!は演出家渡辺亮史さん。新しく出発した劇場「人宿町やどりぎ座」への思いをたっぷり語って頂きました。裏面の記事をご覧ください。

七間町で新たに始まった地域寄席「七間町寄席(通称なよせ)」。惜しまれて終了した駿府寄席の想いを引き継ぎ、この界隈の賑わいを生み出せるよう開催しています。次回は4月26日。静岡一朝一門の登場です!

レビューは、人宿町やどりぎ座で上演した演劇ユニットひ・ま・た・く「かごの島」。レビューはFM-HI!などで活躍するパーソナリティ牧野としこさん。圧倒されたというその舞台で、一冊の本を思い起させたそう。

西おまち界隈にはオーナーの顔が見える美味しい飲食店がたくさんあります。観劇の前後にとても重宝しますね。写真はますます人気のテキーラダイナーさん。本格ハンバーガーに舌鼓。

大道芸ワールドカップのフリンジ部門に参加した「静岡シルク」ジャグリングの新しい表現に挑みました。観客からの反応も上場で思った以上に投げ銭が集まりました。感謝!

今号の記事「西おまちなユニークな人」はヒトヤ堂を切り盛りする若者二人。静岡の街にある喫茶店のあるゲストハウスということで使い方は千差万別。彼女たちの人柄で多くの方がやってきます。

有志が集まりしずおか西おまちパフォーミング・アーツ連絡会を開催しています。映画街と呼べなくなったこの界隈をアートの力で盛り上げていこうと知恵を出し合います。次回は2019年1月16日。誰でも参加可能。

■しずおか西おまちとは?
 七間町、人宿町、駒形界隈のいわゆる静岡の「おまち」より西側に広がるゾーンを「しずおか西おまち」として提案。この界隈では劇場やパフォーマンス・スポットが少しずつ増えています。現在パフォーマーたちの注目を集めているのがこの「しずおか西おまち」ゾーンなのです。明治の大道芸から始まったこの界隈の演劇やエンタメなどの文化芸術の歴史をレガシーとして受け継ぎ、パフォーミング・アーツによってこの界隈に新たな賑わいを創出したいと考えています。詳しくはしずおか西おまちWEBをチェック!
<https://nishiomachi.jp/>

① 札の辻 ② 青葉シンボルロード ③ スノドカフェ七間町
 ④ あそviva!劇場 ⑤ 七間町歩行者天国 ⑥ ライブハウスUHU
 ⑦ コミュニティホール七間町 ⑧ 水道局庁舎前ピロティ
 ⑨ CCC-静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター
 ⑩ 人宿町やどりぎ座 ⑪ 常磐公園

「世界でひとつの家」
 - One house, One world - One of a kind. -
 DESIGN OFFICE SOZOSYA



二代目歌川貞景筆「静岡玉川座棟上の図」